

真宗興法議員団の活動方針

激変する世界の中、宗門も大転換期を迎え改革は必然であります。

宗務改革を着実に実行し、念仏に生きる人々とともに本願念仏のみ教えを聞きひらき、

宗門の願いである同朋社会の顕現に努めてまいります。

教 学 ・ 教 化 —集まる教化の回復—

- ・ 同朋会運動の更なる推進に資するため、同朋新聞の刷新・充実、情報発信に注力していきます。
- ・ 青少幼年教化を重要課題とし、若者・子どもとともに歩む教団を目指します。
- ・ 僧侶の学びを支援する教材等を作成し、教化力が育つ環境を整えます。
- ・ 教師養成における諸課題について総合的見地より対応を進めます。
- ・ 帰敬式受式の推進、本廟奉仕上山の促進を強力に進めてまいります。

財 務

- ・ 相統講精神に基づいた懇志教団であることを理念とし、財政改革に努めます。
- ・ 宗派資産の活用等を通じて、財政の安定化を図ります。
- ・ （新たなご縁づくりを見据えつつ、）宗祖の御廟所である大谷祖廟の総合整備事業を推進します。

組 織 機 構 —持続可能な宗門を目指して—

- ・ 宗務機構改革と業務の効率化により、宗務役員の業務環境の改善を促します。
- ・ 議会の在り方・定数について議論をすすめます。
- ・ 災害に強い宗門を目指し、
 - ①災害時特別教化交付金の充実
 - ②第2種共済制度の抜本的な見直しに取り組めます。
- ・ 別院の再編成に合併・解散も排除せず積極的に取り組めます。
- ・ 教区・組の改編と門徒戸数調査に引き続き取り組めます。
- ・ 全ての宗門組織体への女性の参画を進めます。
- ・ 都市部における「新たなご縁づくり」を願い、「仏事サポートセンター」の充実と教化拠点の開設に努めます。

宗教法人としての公益性の発信

- ・ 教団の価値や存在意義を広く社会に伝えることを目指し、情報発信の充実をはかります。
- ・ 重要文化財指定の真宗本廟各諸殿や渉成園の公開、および活用を積極的に図っていきます。

喫 緊 の 課 題

- ・ 僧侶、門徒がともに取り組む改革であるという意識を共有します。（意識改革の実現）
- ・ 能登半島地震被災者への息の長い支援を継続します。
- ・ 全宗門をあげて是旃陀羅の課題に取り組み、差別事象からの学びを經典読誦に反映させます。
- ・ 専修学院の早期正常化に努めます。